



第159号

勝田 | 阿字ヶ浦

11番目の新駅は「美乃浜学園」

来年4月に磯崎町地内に開校する小中一貫の統合校「美乃浜(みののはま)学園」の近接地に開業する、平磯一磯崎間の新駅の名称を校名と同じ「美乃浜学園」駅とすることがこのほどひたちなか市から発表されました。開業予定は来年3月。新駅建設地では学園と結ぶ取付道路や駅前広場の整備などが、学園建設と同時に進められています。

湊線通学約360人想定

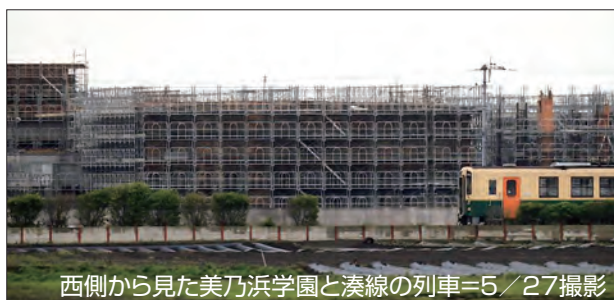
美乃浜学園は平磯、磯崎、阿字ヶ浦地区の小中5校が統合される市内で初めての義務教育学校です。

校名は3地区の住民と児童・生徒から公募し、万葉集に収められたこの地区の海岸を歌ったとされる和歌に由来する「許奴美乃浜(こぬみのへま)」という応募作品があり、この和歌の一説を引用しました。また、「美乃浜」の「美(み)」には美しい海(浜)という意味に加えて、三つの地区の融合を表す「三(み)」と未来への大きな飛躍を表す「未(み)」という意味もこめられています。

統合校は旧平磯太陽観測センター付近の市道沿い、現況畑地の5万8400㎡に一昨年から建設が始まりました。市教育委員会の「統合校基本構想」によると、児童生徒は将来500人前後で推移すると見込まれ、その約7割程度、開校時には364人が湊線通学で「美乃浜学園駅」の利用が想定されています。

新駅はホームが1面の無人駅として近く着工されます。ホームには安全対策として転落防止の防護柵も整備されます。防護柵は平磯、磯崎、阿字ヶ浦駅にも整備される予定です。

建設が進む美乃浜学園と新駅建設地(円内)
=5/29撮影・市教育委員会施設整備課提供



駅に地元の皆さんの笑顔戻る

新型コロナウイルス感染防止で休止していた各駅の清掃活動と、那珂湊駅ホームでの野菜と干物の朝市が6月7日朝、3ヶ月ぶりに再開されました。

那珂湊駅ではこの日、釈迦町自治会の清掃当番に合わせて同町子供の皆さんが、保護者とともに駅待合室前のプランターに花植えもしてくれました。朝市にも多くの地元の方が訪れ、販売する農協と漁協婦人部の方と再会を喜び合い、久々に駅に賑わいが戻りました。

書面表決で応援団総会

2020年度の応援団通常総会が、新型コロナウイルスの感染防止を考慮し、書面表決のかたちで6月5日に承認されました。

今年度の予算は総額約81万3千円(前年度比約15万3千円減)で、前年度に引き続き、湊線沿線の魅力発信や湊線延伸実現への協力などの活動をしていきます。

再開された朝市=写真左と、釈迦町子供の皆さんが花植えの様子



野菜と干物の朝市
毎月第一日曜日に開催

駅の環境整備 再開しました

駅名	7月5日(日)	8月2日(日)
中根	柳沢美田多・相金・三反田班	
高田の鉄橋	柳が丘・関戸町・田中町自治会	
那珂湊	小川龍之口町	神敷台部田野小谷金十三奉行
殿山	七丁目・牛久保町	和田町・殿山町
平磯	平磯・平磯清水町自治会	
磯崎	磯崎町自治会	
阿字ヶ浦	阿字ヶ浦自治会	

※朝8:30(中根駅は7:30、高田の鉄橋駅は8:00)から実施します。

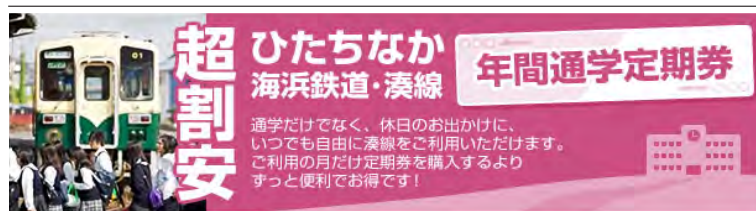
7月11日(土) はまぎく花壇整備をします
那珂湊駅西側のはまぎく花壇整備を7月11日(土)、午前8時から(草刈機は7時30分)から実施します。周辺自治会の皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

夏の硬券フリー切符&応援券を発売しています

応援券をリニューアルしました

6月1日(月)から湊線応援企画の「湊線応援券」と「特製硬券1日フリー切符」の夏バージョンを那珂湊駅と勝田駅湊線窓口で販売しています。セット価格1,000円で、通常のフリー切符と同額です。応援券は今回から新シリーズ(第6版)になります。硬券はちょっと大きい「C型硬券」です。

四季毎に発行される応援券4種類を揃え、那珂湊駅窓口に呈示された方にはプレゼントを差し上げます。※切符には当分の間、旧価格が印刷されています。



湊線沿線の「いま」がわかる! 応援団facebookページ「いいね!」9,240名を達成しました!

【海浜鉄道関係】

◇ホームページ <http://www.hitachinaka-rail.co.jp/>

◇ツイッター <http://twitter.com/minatoline>

【応援団関係】

◇フェイスブック <http://www.facebook.com/MinatoLineSupporters>

◇ツイッター <http://twitter.com/keha601>

◇応援団HP <http://minatosen.com>(湊線どっと混む)

※「ひたちなか海浜鉄道」「おらが湊鐵道応援団facebook」でそれぞれ検索もできます。

新型コロナウイルス終息までともに頑張りましょう!

市として全面的にバックアップ

ひたちなか市副市長 渡邊 政 美さん
ひたちなか海浜鉄道取締役



応援団の方々をはじめ沿線地域の皆様におかれましては、日頃より積極的な湊線の利用促進活動や環境美化活動などを行っていただき、心より感謝申し上げます。

私は、昭和55年に茨城県庁に入庁し、企画部などで長く県政の運営と発展に携わってきました。本年度からは、ひたちなか市の副市長として、ひたちなか海浜鉄道株式会社の取締役に就任し、湊線に携わるようになりました。

湊線は、ひたちなか市の象徴であるとともに、日常生活に欠かせない大事な公共交通機関であると認識しています。吉田社長の地道な経営努力もさることながら、地域や応援団の方々の継続的な活動により利用者が順調に増加し、おかげをもちまして、令和元年度の利用者数は海浜鉄道発足以来最高となる106万人を記録することができました。

しかしながら、昨年度末からの新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、海浜鉄道も大きな打撃を受けており、事態収束後も特に観光需要の回復は厳しい状況が続くことが想定されています。これまでも廃線や震災の危機を乗り越えてきた湊線ですので、市としても全面的にバックアップしてまいりますので、引き続き、応援団や市民の皆様方のご支援・ご協力をお願いいたします。

また、観光の振興や地域の活性化など様々な効果の期待できる湊線の延伸につきましても、目標に向かって進めてまいりたいと考えております。

海浜鉄道2019年度決算

定期利用が大きく伸び輸送人員、収益とも開業以来最高

ひたちなか海浜鉄道では、5月末の定時株主総会において承認を得て、2019年度決算を発表しました。

年間輸送人員は、開業以来最高の106万158人(定期8.6%増、定期外1.1%増)、旅客運輸収入も2億203万6千円と初めて年間2億円を突破し、営業収益全体では2億7256万5千円となりました。これにより最終収益は289万3千円の黒字となり、これも過去最高となっています。

上期はゴールデンウィークの10連休化や国体の開催などの特需に恵まれたものの、下期に入ってから天候不順や新型コロナウイルスによる外出自粛が影響し、定期外旅客収入は前年を若干下回る98%でしたが、地元のみならずの定期利用が通勤定期で113.2%、通学定期で105.1%と大きく伸び、それをカバーする結果となりました。

この結果については、地域鉄道は沿線の皆さんの移動手段としてしっかり運行を続けることがなによりも大切であることが、あらためて証明されたことと分析しています。

現在は、コロナ感染対策の影響により非常に厳しい状況が続いていますが、湊線の維持・活性化に向け今後とも努力を続けてまいりますので、よりいっそうのご支援をお願いいたします。(海浜鉄道社長 吉田千秋)

好評です 湊線グッズ
オンライン販売

<https://minatoline37.base.shop/>



応援団特製 ポストカード好評発売中
駅猫セットなど5枚組350円~

「乗車証明書」でおトク!

- ★乗車証明書は、湊線に乗車したお客様に駅員または応援団が発行する乗車特典のサービスです。証明書を参加店舗に提示することにより各店独自の優待が受けられます(スタンプ当日限り有効)。現在沿線100店(施設)近くが参加し、お買物や宿泊などで優待があります。
- ★サービスは乗車当日なら、何店でも利用できます。
- ★参加店は那珂湊駅待合室に置かれたチラシ、証明書に印刷されたQRコード、海浜鉄道HPまたは応援団facebookページでご確認ください。
- ★乗車証明書裏面に印刷されたQRコードで湊線時刻表と応援団facebookページも確認できます。
- ★乗車証明書は湊線フリー切符でも代用できます。

